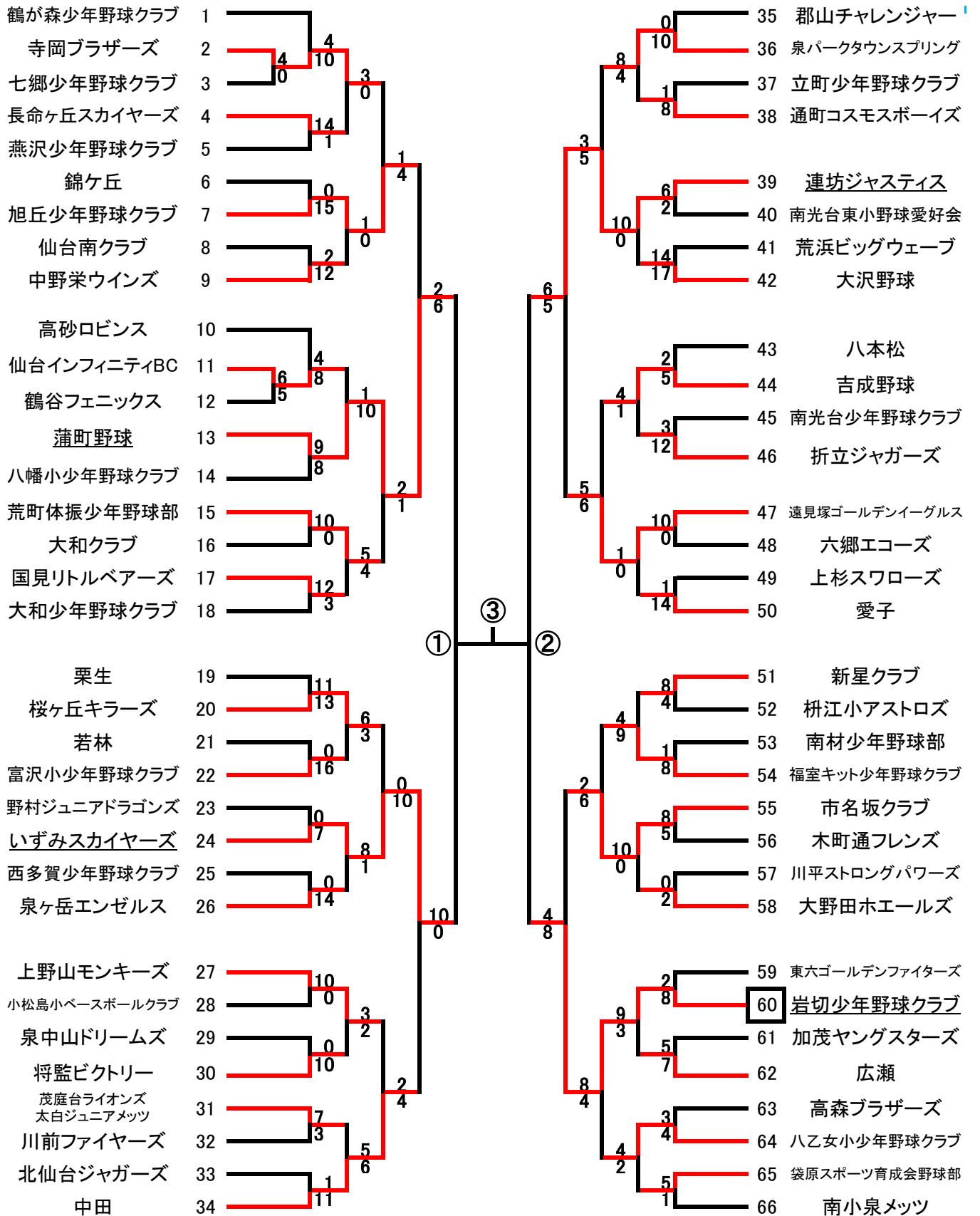


令和元年度 仙台市スポーツ少年団 第30回 秋季・新人野球交流大会 大会要項

別紙1

- 1:趣 旨 仙台市スポーツ少年団(野球)が一堂に会し、日頃の活動の成果を示し、
団員相互の交流を計るとともに技能の向上を目指すこと。
- 2:主 催 仙台市スポーツ少年団
- 3:主 管 仙台市スポーツ少年団野球部会
- 4:後 援 仙台市野球協会
- 5:協 賛 ㈱NIKKAメモリーアート アクティースポーツ
- 6:試合期日 秋季大会:令和元年9月22日(日)・23日(月)・28日(土)・29日(日)・10月12日(土)・11月
24日(日)・12月8日(日)
新人大会:令和元年10月6日(日)・14日(月)・19日(土)・11月24日(日)・30日(土)・12月
7日(土)
(ただし学校行事などのための調整日に土・日曜日を使用いたしますので了承ください。)
- 7:会場・時間 ①開会式会場 9月22日 08:00～ 海岸公園第3球場
雨天で試合が翌日以降になった場合は開会式は行わず試合に入ります
ただし、優勝旗、準優勝杯の返還は当日の会場で試合前に行います。
- 8:参加資格 (1)参加資格は、仙台市スポーツ少年団本部に登録した指導者及び団員とし、仙台市内
小中学校に在籍する選手で構成したチームとする。なお、特別な事情がある場合は
役員会協議し参加資格を認める。なお、新人戦において、団員は本部登録がされて
いなくとも、参加する事が出来る。
(2)指導者及び選手はスポーツ保険に加入していること、又は、同等の保険に加入している
こと。
(3)リトルリーグに登録している者は参加を認めません。
(4)新人戦については、本部登録をされていなくとも出場を認める。
(5)合同チームのユニフォームは、それぞれのチームのユニフォーム着用を認める。ただし、
背番号は統一した番号とする。
- 9:その他 (1)大会要項及び大会規則による。
(2)雨天等で開催が危ぶまれるような場合は、試合会場担当責任者(部会役員)に
各団の連絡責任者より確認の電話をお願いします。(第2日目以降の試合グラウンド等も)
(3)試合会場集合時間は試合該当団及び審判担当者とも試合開始予定時刻
30分前に致します。(但し、第1日目の第1試合を除く)
(4)ボールボーイは試合該当団より各3名(外野1名)をお願い致します。
(5)試合終了後のグラウンド整備は試合終了該当団2団で行って下さい。
(6)事故等が発生した場合は、速やかに試合会場責任者(部会役員)に報告
して下さい。
(7)ゴミ・たばこの吸殻等は各団でお持ち帰り下さい。
(8)その他ご不明等がある場合には部会事務局長(宍戸幸雄)まで、電話にて
お問い合わせ確認して下さい。(携帯090-9031-0225)

令和元年度仙台市スポーツ少年団第30回秋季野球交流大会4日目(12/8)組合せ



□は、10月12日(土)のグラウンド担当団となります。

令和元年度仙台市スポーツ少年団第30回秋季野球交流大会

12月8日(日)

試合会場及び担当団・連絡責任者

	使用グラウンド	グラウンド担当団	G責任者	電話番号
ブロック	将監公園野球場	岩切少年野球クラブ	宍戸幸雄	090-9031-0225

各ブロック試合開始時間予定

試合時間	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	第6試合
ブロック	9:00~10:30	10:40~12:10	12:40~14:10			

審判について

試合は本部より派遣のゴールド審判員が担当します。

外野ネット担当者

大き目のハンマーを準備してください。

テープが余った場合は、ネット回収者に戻してください。

	使用グラウンド	ネット持参者	ネット回収者
ブロック	将監公園野球場	宍戸幸雄	宍戸幸雄

当日、若干の変更があるかもしれません

仙台市スポーツ少年団 野球交流大会規則

- 1 参加資格は、仙台市スポーツ少年団本部に登録した指導者及び団員とし 仙台市内の小・中学校に在籍する選手で構成したチームとする。なお、特別な事情がある場合は役員会にて協議し参加資格を認める。 なお、新人戦において、団員は本部登録がされていなくとも、参加する事が出来る。
- 2 編成選手は野球部会所定の団員登録用紙に試合の都度記入提出する事とする。
- 3 チーム編成は選手20名までとし、責任者（団代表1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名） 5名を含め25名までで構成する。但し、団代表と監督を兼任している場合は、団代表の代理を認める。（1試合毎に選手変更可）
- 4 登録メンバーが10名に満たないチームは、合同チームを編成して参加することを認める。ただし、他のチームからきた選手は、前のチームの試合に参加できない。
- 5 試合は5回戦とし、3回以降10点差の場合コールドゲームとする。（但し、春季・秋季・新人交流大会準決勝戦及び決勝戦は7回戦とし、5回以降10点差の場合コールドゲームとする。）5回終了後同点の場合は、特別延長を2回まで行い同点の場合は終了時のメンバーにて抽選で勝敗を決める。
（但し、春季・秋季・新人交流大会準決勝・決勝戦の7回終了後同点の場合も同様とする。）
- 6 雨天コールドゲームの判断は、控え審判（ゴールド）及びグラウンド責任者が行い、次の場合、正式試合とする。
 - ① 3回の表裏を終了した場合
 - ② 3回表の終了時に後攻チームが勝っている場合
 - ③ 3回裏の攻撃中に後攻チームが勝ち越した場合
 - ④ 3回裏の攻撃中に後攻チームが同点においついたとき、終了を命ぜられた場合

（但し、春季・秋季・新人交流大会準決勝・決勝戦は、3回を5回に読み替える。）
- 7 第5項の規定にかかわらず試合時間が70分を超えた場合は、その回を以って終了し新しいイニングに入らずコールドゲームとする。なお、同点の場合はそのまま特別延長に入る。（但し、7回の場合は90分で同様とする。）
- 8 試合開始時刻30分前には、必ず試合会場に到着し、本部で先発メンバー表の提出(4部提出。放送設備のある場合は5部提出。)をして先攻、後攻を決め試合に備えて待機する。
（但し、開会式実施第1試合該当団は、例外とする。）
- 9 試合開始予定時刻になっても試合会場に来ないチームは棄権とみなし、相手チームの勝ちとする。
- 10 投手の1日のイニング数は10回を目標とするが、強制するものではない。但し、指導者として選手の健康管理には十分留意いただきたい。
- 11 試合は、全日本軟式野球連盟の野球規則および学童の部の規則にて行う。

大会審判の取り組みについて

各種大会の審判については、毎年大会終了後各チーム関係者より、ジャッジに対するクレームが多く審判の技術向上が叫ばれております。一昨年より、仙台市野球協会のゴールド及びシルバーの審判員に出来るだけ審判をお願いしております。

また、今まで控え審判としてお願いをしていた全軟連泉支部も少年野球の審判について出来るだけ、スポ少独自で審判を行って欲しいとの要望もありました。スポ少の審判費支出の面でも多額の金額を支払うこととなっております。

平成22年度より、仙台市スポーツ少年団の各種大会の審判については、次のとおりと致しますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 公認審判のグラウンドへの配置を行わず。仙台市野球協会のゴールド及び準ゴールドの審判を配置することと致します。配置された審判には日当として1,000円を支給する。

2. 大会の審判は、各チームの皆さんに従来どおり試合終了後の試合の審判を行ってまいります。勝者が主審と2塁、敗者が1・3塁の審判を行ってまいります。但し、グラウンド担当団は1~3塁の塁審をお願いします。主審は第一試合のみゴールド及び準ゴールドの審判員にお願いいたします。

3. 審判は、審判技術の向上と正確なジャッジを行っていただくことを目差し各チームの仙台市野球協会のゴールド、準ゴールド、シルバーの審判員にて対応願います。

4. 審判の講習会は従来どおり年2回行いますが、仙台市野球協会の審判講習会においても、審判徽章（全軟連の審判徽章）を受領できるようタイアップしていきます。

5. 試合中にジャッジなどで問題があった場合は、主審、塁審の4名で協議し判定しますが、控え審判のアドバイスを受けて協議し判定を行うことも出来ます。

6. 審判の服装は、各区で定めるシャツかポロシャツ審判徽章は、仙台市スポ少の大会のみ、全軟連の審判徽章、ゴールドの徽章、シルバーの徽章で行っても良いこととします。但し、県スポーツ少年団野球協議会のジャンボ大会などは全軟連の審判徽章のみとなりますので注意下さい。

グラウンド担当の皆様へ

外野ネットの設置方法

1塁側、3塁側にホームベースより70mの位置にポイントを設置
2塁ベースの中心より、先ほどの70mのポイントに巻き尺を置き
円を書きこの場所にネットを設置願います。
会場によっては、70mを取れない場合があります。その際は安全を
考慮しながら設置ください。

なお、ベース間、距離など、競技者必携(学童の部)でしっかり確認して
試合をさせて下さい。

